

# 放射線サーベイ記録

A型輸送物 1

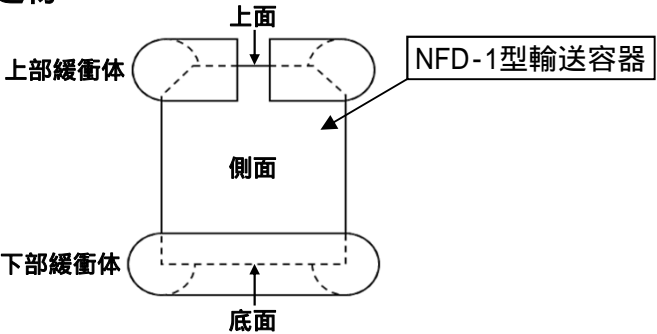
測定目的	所外運搬に伴う輸送物サーベイ	測定項目	線量当量率 表面汚染密度
測定場所	1F 共用プール建屋3階	測定者	
測定日時	平成28年6月22日 13:25 ~ 14:00	測定器	【線量当量率】 F1-HS-009, F1-SC-026 【表面汚染密度】 F1-SC-002 (換算定数 ( ) : $1.55 \times 10^{-2}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ )) (換算定数 ( ) : $1.61 \times 10^{-2}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ ))

線量当量率( ) BG: 3.0  $\mu\text{Sv/h}$

表面汚染密度( , )

表面汚染計数率BG( ): 0 cpm 検出限界値( ): 0.14 Bq/ $\text{cm}^2$   
 ( ): 34 cpm ( ): 0.48 Bq/ $\text{cm}^2$

## 1. 輸送物



		線量当量率( ) [ $\mu\text{Sv/h}$ ]		表面汚染密度[Bq/ $\text{cm}^2$ ] ( ) 内GROSS値	
		表面	表面から1m	( )	( )
1-1	上面	7.0	3.5	LTD : ( 0 cpm)	LTD : ( 31 cpm)
1-2	側面	4.5	2.0	LTD : ( 0 cpm)	LTD : ( 28 cpm)
1-3	底面	2.0	2.2	LTD : ( 0 cpm)	LTD : ( 25 cpm)
1-4	上部緩衝体			LTD : ( 0 cpm)	LTD : ( 30 cpm)
1-5	下部緩衝体			LTD : ( 0 cpm)	LTD : ( 37 cpm)

(LTD: 検出限界値未満)

### 【基準】

線量当量率( ): 輸送物表面において2mSv/h以下であること  
 : 輸送物表面から1mにおいて100  $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること  
 表面汚染密度( ): 0.4Bq/ $\text{cm}^2$ 以下であること  
 ( ): 4Bq/ $\text{cm}^2$ 以下であること

# 放射線サーベイ記録

運搬車両  
(輸送物積載後)

測定目的	所外運搬に伴う運搬車両サーベイ (輸送物積載後、1F出発前)	測定項目	線量当量率 表面汚染密度
測定場所	1F 車両除染・排水処理装置建屋	測定者	
測定日時	平成28年6月23日 9:30 ~ 10:40	測定器	{線量当量率} F1-SC-026 {表面汚染密度} F1-GMAD-221 (直接法換算定数: $7.84 \times 10^{-3}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ ) スミア法換算定数: $1.54 \times 10^{-2}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ ) F1-GMAD-450 (直接法換算定数: $6.84 \times 10^{-3}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ ) スミア法換算定数: $1.34 \times 10^{-2}$ Bq/( $\text{cm}^2 \cdot \text{cpm}$ )

線量当量率( ) BG: 0.38  $\mu\text{Sv/h}$

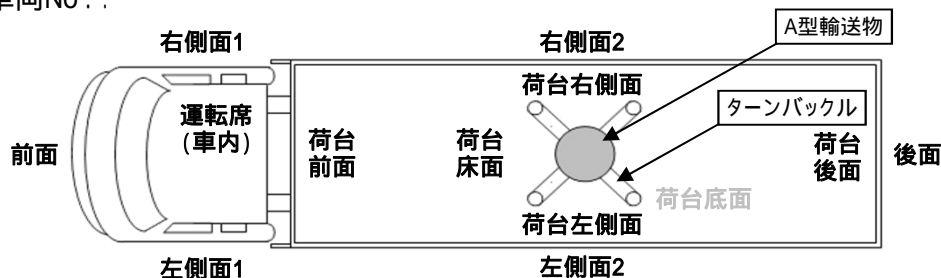
表面汚染密度

表面汚染計数率BG( ): 250 cpm

直接法検出限界値( ): 0.86 Bq/ $\text{cm}^2$  スミア法検出限界値( ): 1.7 Bq/ $\text{cm}^2$

## 1. 運搬車両

車両No.:



	線量当量率( ) [ $\mu\text{Sv/h}$ ]		表面汚染密度[Bq/ $\text{cm}^2$ ] ( ) 内GROSS値		
	表面	表面から1m	測定方法	( )	
前面	0.33	0.37	直接法・スミア法	LTD	( 200 cpm)
右側面1			直接法・スミア法	LTD	( 150 cpm)
右側面2	0.43	0.40	直接法・スミア法	LTD	( 220 cpm)
後面	0.33	0.34	直接法・スミア法	LTD	( 220 cpm)
左側面1			直接法・スミア法	LTD	( 150 cpm)
左側面2	0.40	0.33	直接法・スミア法	LTD	( 250 cpm)
荷台底面	0.25		直接法・スミア法	LTD	( 150 cpm)
運転席(車内)	0.40		直接法・スミア法	LTD	( 200 cpm)
A型輸送物			直接法・スミア法	LTD	( 220 cpm)
ターンバックル			直接法・スミア法	LTD	( 180 cpm)
荷台前面			直接法・スミア法	LTD	( 200 cpm)
荷台右側面			直接法・スミア法	LTD	( 230 cpm)
荷台後面			直接法・スミア法	LTD	( 230 cpm)
荷台左側面			直接法・スミア法	LTD	( 200 cpm)
荷台床面			直接法・スミア法	LTD	( 280 cpm)

[基準]

線量当量率( )

: 運搬車両表面において

2mSv/h以下であること

: 運搬車両表面から1mにおいて

100  $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること

: 運転席において

20  $\mu\text{Sv/h}$ 以下であること

表面汚染密度( )

: 運搬車両表面において

4Bq/ $\text{cm}^2$ 以下であること

(LTD: 検出限界値未満)

## 2. 車両運転手の身体汚染検査

	表面汚染密度( ) [Bq/ $\text{cm}^2$ ] ( ) 内GROSS値	
全身	LTD	( 170 cpm)
足裏(靴底)	LTD	( 220 cpm)

(測定方法: 直接法)

[基準]

表面汚染密度( ): 4Bq/ $\text{cm}^2$ 以下であること

(LTD: 検出限界値未満)